

## ハイブリッドナノマテリアルの創出と機能開拓

Development of Hybrid Nano-materials and their Applications

開催日: 2014年3月17日(月)10:00~12:00 開催場所: G会場

主催団体名: 日本セラミックス協会ハイブリッド材料研究会

概要 開催内容: ハイブリッドナノマテリアルの創出と機能開拓に焦点を当てて、活躍著しい先生方をお招きし、ハイブリッド材料研究会の講演会を開催致します。振るってご参加ください。

(1) 静電噴霧熱分解法を用いたハイブリッド材料合成の試み (筑波大) 鈴木義和先生

(2) ナノシリカ中空粒子フィラーの合成とその応用 (名工大) 藤 正督先生

(3) 機能性ナノ粒子を用いるハイブリッド材料 (名大) 余語利信先生

参加対象者: ご興味のある方は、社会人、学生を問わず、どなたでも大歓迎です。

参加費: 無料

予定参加者数: 30名

申込方法: 参加希望者は氏名・所属・連絡先・懇親会(講演会当日の夕刻)の参加の有無をE-mail で連絡担当者まで事前に連絡ください。なお、当日参加も可能です。

交流会(懇親会)開催予定: 当日夕刻より開催、懇親会3000円程度

連絡先

名前: 増田佳文

勤務先: (独)産業技術総合研究所

勤務先所在地: 名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98

TEL: 052-736-7345

FAX: 052-736-7234

E-mail: masuda-y@aist.go.jp

## 第10回バルクセラミックスの信頼性革新に関する研究会

The 10<sup>th</sup> Workshop on Innovation of Reliability in Bulk Ceramics

開催日: 2014年3月17日(月)10:00~12:00 開催場所: K会場

主催団体名: 日本セラミックス協会バルクセラミックスの信頼性革新に関する研究会

協賛団体名: 日本セラミックス協会エンジニアリングセラミックス部会, 日本学術振興会第124委員会

概要 開催内容: バルクセラミックスの製造時の信頼性および稼働時の信頼性についての現状の問題点と最近の進歩について、企業、国研、大学における第1線の研究者による講演会。また、講演の最後には、出席者全員での総合討論を行い、バルクセラミックスの将来構想についても広く意見を集めたい。

招待講演(敬称略)

『信頼性・生産性向上を目指した分散・凝集評価法の現状と将来』 武田真一(武田コロイドテクノ・コンサルティング(株))

『バルクセラミックスの配向組織制御』 鈴木 達(物質・材料研究機構)

『スピノーダル相分離による SnO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>2元系複合材料の微構造制御と物性』 関野 徹(東北大学)

総合討論

参加対象者: ご興味のある方は、社会人、学生を問わず、どなたでも大歓迎です。

参加費: なし

申込方法: e-mail で [kyasuda@ceram.titech.ac.jp](mailto:kyasuda@ceram.titech.ac.jp) までお申し込み下さい。交流会の参加の有無もお願いします。配布資料の準備もあるので、事前にお申し込み頂くと助かります。

予定参加者数: 30名

交流会(懇親会)開催予定: 3月17日(月)の夕方に開催する予定です。交流会は、実費負担となります。

連絡先

名前: 安田公一 勤務先: 東京工業大学 勤務先所在地: 〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1-S7-14

TEL: 03-5734-2526 FAX: 03-5734-3352 E-mail: [kyasuda@ceram.titech.ac.jp](mailto:kyasuda@ceram.titech.ac.jp)

## 第3回 エネルギー変換の材料科学研究会

The 3<sup>rd</sup> Workshop on Material Science for Energy Conversion

開催日:2014年3月17日(月)10:00~12:00 開催場所:D302

主催団体名:日本セラミックス協会 エネルギー変換の材料科学研究会

概要 開催内容:本研究会は『エネルギー変換』をキーワードとして異分野の若手研究者同士がダイレクトに結びつき、学際的な視点からユニークな材料設計の概念を創出することを狙う。今回は2件の依頼講演と参加者のポスター発表を通じ、新しい材料設計指針と材料創製のための議論の場を作る。

依頼講演:「局所構造解析および第一原理分子動力学計算を用いたプロトン伝導性酸化物におけるプロトン分布の検討」北村尚斗(東京理科大)

「層状水酸化物のナノ・マクロ構造制御がもたらす機能性」徳留靖明(大阪府立大)

参加対象者:日本セラミックス協会会員ならびに非会員 参加費:無料

予定参加者数:15名程度

申込方法:必ず事前申込みをお願いします。ポスターの講演題目・著者・所属・連絡先(メールアドレス)・交流会参加の有無を記載の上、200字以内の要旨とともに3月12日(水)までに下記連絡先に電子メールにて申込みください。事前申込みのない方の当日参加はご遠慮ください。

交流会(懇親会)開催予定:あり(3月17日(月)夕刻に開催予定、詳細は当日、会費制)

連絡先

名前:エネルギー変換の材料科学研究会

事務局(村井 俊介)

勤務先:京都大学

勤務先所在地:〒615-8510 京都市西京区桂1丁目

TEL:075-383-2422

FAX:075-383-2420

E-mail:e.henkan@gmail.com

## 第5回 高温電子セラミックスワークショップ

The 5<sup>th</sup> Workshop on High Temperature Electroceramics

開催日:2014年3月17日(月)10:00~12:00 開催場所:D会場

主催団体名:日本セラミックス協会電子材料部会 高温電子セラミックス研究会

概要 開催内容:高温で電子機能を発現する「高温電子セラミックス」は、セラミックスの特徴を活かした新たな展開であり、かつ産業界からは多くの期待が寄せられている。本研究会では、耐熱性を指向した電子セラミックスを「高温電子セラミックス」として整理し、今回は主に誘電体材料を中心に、高温で動作可能なコンデンサーについてご講演頂きます。この分野を代表する下記の先生方にご講演頂くと共に、参加者間の縦断的な研究交流の輪を構築します。

参加対象者:高温電子セラミックスに興味のある方ならどなたでも

参加費:無料

予定参加者数:30-50名

申込方法:下記の連絡者までEmailにて。当日の参加受付も可能です。

交流会(懇親会)開催予定:なし

その他・備考:

ご講演いただく講師の先生方(予定)

鶴見 敬章 先生 (東京工業大学)

鈴木 宗泰 先生 (産総研)

小林 圭介 先生 (太陽誘電)

和田 智志 先生 (山梨大学)

連絡先

名前:永田 肇

勤務先:東京理科大学

勤務先所在地:千葉県野田市山崎 2641

TEL:04-7122-9542

FAX:04-7122-9542

E-mail:h-nagata@rs.noda.tus.ac.jp

## 第1回放射光・中性子によるセラミックス原子相関解析研究会

The First Meeting on Atomic Correlation Analysis of Ceramics by Synchrotron Radiation and Neutron Beams

開催日:2014年3月17日(月)9:00~12:00 開催場所:E会場

主催団体名:放射光・中性子によるセラミックス原子相関解析研究会

概要 開催内容:近年、構造解析を目的とした国内外の大型実験施設や高度な分析機器が活発に利用され大きな成果をあげています。放射光・中性子によるセラミックス原子相関解析研究会では、原子相関解析に有効な多彩な実験手法を取り上げ、4名の先生方による講演会を企画しました。量子ビームの利用を中心に、高度な実験手法に関する議論を通して、セラミックス材料の構造研究分野の更なる発展の一助となることを期待します。

【招待講演】

「高輝度放射光を用いた非周期系材料のナノスケール構造解析」(JASRI 小原真司)

「放射光X線と中性子の相補利用によるイオン伝導ガラスの構造観察とイオン伝導経路の予測」(京都大学 福永俊晴)

「オングストロームビーム電子回折による非晶質物質の局所構造解析」(東北大学 AIMR 平田秋彦, 藤田武志, 陳明偉)

「核磁気共鳴法および第一原理分子動力学計算によるガラスのダイナミクスと構造研究」(千葉大学 大窪貴洋)

参加対象者:日本セラミックス協会会員, 学生会員, 非会員

参加費:無料

予定参加者数:30名

申込方法:E-mailにより, 交流会参加の有無も含めて下記連絡先にお申込みください。(当日参加も可)

交流会(懇親会)開催予定:有(当日夕刻, 要会費)

連絡先

名前:紅野安彦

勤務先:岡山大学

勤務先所在地:岡山市北区津島中 3-1-1

T E L:086-251-8895

F A X:086-251-8910

E-mail:benino@okayama-u.ac.jp

## 第1回資源・環境関連セラミックス材料・技術研究講演会

The 1<sup>st</sup> Meeting on Ceramics Materials and Technology Related to the Fields of Resources and Environment

開催日:2014年3月17日(月)09:00~12:00 開催場所:B会場

主催団体名:資源・環境関連セラミックス材料/技術に関する研究会

概要 開催内容:資源・環境関連の研究に関する分野横断型のテーマについて, 環境浄化, 廃棄物の有効利用, エネルギー関連材料, 資源回収, 環境回復等を研究トピックスに, これらに関連するセラミックス材料ならびに技術に関する研究状況, 成果報告, 新規材料や技術の提案, 問題提起などについて討論および情報交換を行う。

参加対象者:日本セラミックス協会会員(個人・教育・シニア)、学生会員、非会員

参加費:無料

予定参加者数:60名

申込方法:電子メールによる事前申込(当日参加も可)

交流会(懇親会)開催予定:3月17日(月)夕刻(会費制)

その他・備考:一般発表を募集します。発表希望の方は, タイトルを「第1回資源・環境関連セラミックス材料・技術研究講演会」として, 講演題目, 著者(発表者に○をしてください), 所属, 連絡先(メールアドレス), および交流会への参加の有無を記載し, A4用紙1ページ程度の講演要旨原稿のPDFファイルを添付の上, 3月7日(金)までに亀島宛に電子メールにてお申し込み下さい。また, 交流会参加希望者は, 氏名, 所属を記入し, 「交流会へ参加」と記述の上3月7日(金)までに亀島宛に電子メールにてお申し込み下さい。なお, 講演会・懇親会ともに当日参加も可能です。

連絡先

名前:亀島欣一

勤務先:岡山大学 大学院環境生命科学研究所

勤務先所在地:〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

T E L:086-251-8907

F A X:086-251-8907

E-mail:ykameshi@cc.okayama-u.ac.jp

## 第2回ケミカルフィールド研究討論会

The Second Meeting on Control of Chemical Processing for Ceramic Materials

開催日: 2014年3月17日(月)10:00~12:00 開催場所: F会場

主催団体名: ケミカルフィールド研究会

概要 開催内容: セラミクス材料合成プロセスの制御に関する講演会を下記の通り開催致します。

10:00~10:30 「筒状メソ孔を有する酸化物への金属ナノ粒子の析出とその機能」

河村 剛(豊橋技科大)

10:30~11:00 「ゾルーゲル法によるシルセスキオキサン系多孔体の開発」

金森 主祥(京大)

11:00~11:30 「粒子形態制御のための分子と反応のケミカルデザイン」

富田 恒之(東海大)

11:30~12:00 「バナジン酸塩化合物レア・アースフリー蛍光体の合成と発光色制御」

松嶋 雄太(山形大)

参加対象者: 会員(個人・教育・シニア)、学生会員、非会員

参加費: 無料

予定参加者数: 50名

申込方法: 事前申し込みは不要です。

連絡先

名前: 石垣 隆正

勤務先: 法政大学生命科学部環境応用化学科

勤務先所在地: 〒184-8584 小金井市梶野町 3-7-2

TEL/FAX: 042-387-6134

E-mail: ishigaki@hosei.ac.jp

## 第1回電子・エネルギー材料プロセス研究会

1st Meeting on Electronic and Energy Ceramic Material Processing

開催日: 2014年3月17日(月)10:00~12:00 開催場所: C会場

主催団体名: 電子・エネルギー材料プロセス研究会(代表: 一ノ瀬 昇(早稲田大学))

概要 開催内容: 機能性材料がもつ物性をデバイスとして最大限活かすためにはプロセス技術の高度化が不可欠です。特に電子セラミクスやエネルギー関連セラミクスでは、必要に応じて様々な高度化プロセスが開発されています。これらの高度化プロセスの多くは各デバイスに特化されていますが、この学術的基盤が新規開発の参考になることもしばしばみられます。そこで、プロセス技術と次世代電子セラミック材料並びにエネルギー関連セラミック材料の性能との関係を明らかにし、これらのデバイス化に関する技術や学術的基盤さらに最新の動向に関する情報の交流交換や議論を促進する場として本研究会を開催いたします。

参加対象者: 日本セラミクス協会会員(個人, 教育, シニア), 学生会員, 非会員

参加費: 無料

予定参加者数: 40名

申込方法: (一般講演) 電子メールにて3月9日(日)までに以下の連絡先までお申し込みください。講演時間は、1件につき10~15分を予定しております。講演題目, 著者, 所属, 連絡先, 交流会参加の有無を記載の上, 講演要旨原稿(A4 1ページ程度)のPDFファイルを添付してください。(一般聴講) 当日参加も可能ですが, 交流会等の準備のため事前に電子メールでご連絡いただくと助かります。

交流会(懇親会)開催予定: 3月17日(月)夕刻に開催予定

連絡先

名前: 電子・エネルギー材料プロセス研究会事務局(須田聖一)

勤務先: 静岡大学大学院工学研究科

勤務先所在地: 〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

T E L: 053-478-1180

E-mail: tssuda@ipc.shizuoka.ac.jp

# 焼結の科学と技術

Science and Technology of Sintering

開催日: 2014年3月17日(月) 10:00~12:00 開催場所: A会場

主催団体名: 焼結研究会

概要 開催内容: 10:00 開会 西村聡之(物質・材料研究機構)

10:05-10:50 「セラミックス材料のレーザ焼結技術—固体酸化物形燃料電池への応用—」 山崎和彦(茨城大学)

10:55-11:40 「Flash-sintering による酸化物系セラミックスの緻密化」 吉田英弘(物質・材料研究機構)

11:40-12:00 ディスカッション

参加対象者: 焼結の研究に関して興味のある方

参加費: 無料

予定参加者数: 50名

申込方法: 下記連絡者に電子メールで申し込みをお願いします。

交流会(懇親会)開催予定: 特になし

その他・備考:

連絡先

名前: 西村 聡之

F A X: 029-851-3613

勤務先: 物質・材料研究機構

E-mail: NISHIMURA.Toshiyuki@nims.go.jp

勤務先所在地: 〒305-0044 つくば市並木 1-1

T E L: 029-860-4488

## 電子化移行に伴うサービス (2014年年会)

1. 配布の方法 予稿は全編 DVD に収録されています。プログラムは冊子体で配布します。事前参加登録者(入金済)に、予稿インターネット公開(4を参照)を実施します。
2. 公開時期の周知(予稿集発行日) 予稿集の発行日は2014年3月7日(金)となります。特許出願の関連で、特許法30条に定める例外規定の適用起算日となる予稿集発行日を、Web公開の開始日(2014年3月7日(金))とします。公開日(予稿集発行日)が従来よりも一週間程度早くなるため、特に特許申請を計画中の方はご注意ください。特許証明申請については[http://www.ceramic.or.jp/csj/tensai-tokkyo/n\\_tokkyo.html](http://www.ceramic.or.jp/csj/tensai-tokkyo/n_tokkyo.html)を参照してください。
3. 予稿集テンプレートの変更 電子化(PDF化)に伴い、これまでの予稿集テンプレートを大幅に改定しました。カラー投稿も可となりました。
4. 電子化移行に伴うサービス
  - ・予稿インターネット公開 公開期間: 2014年3月7日(金)~2014年3月19日(水) 事前参加登録者(入金済)に、予稿をインターネット上に公開します。各講演の予稿 PDF の閲覧およびダウンロードが可能です。当日参加登録者は、会期当日に希望者に閲覧用のIDを発行します。
  - ・プリントサービス(有料)および貸出用DVDドライブ(無料)の設置 会場には印刷用プリンターとパソコンを設置する予定ですが、混雑が予想されます。お手数ですが、事前にプリントしていただくか、DVDデータのノートPCへのコピーまたはDVDが読み込み可能なノートPCの持参を推奨いたします。
5. 座長へのPDF事前公開 座長へは、予稿インターネット公開を利用し、担当講演の予稿を閲覧できるIDとパスワードを2014年3月7日(金)にメールにて通知いたします。